

「優勝旗持って帰る」 光星ナイン活躍誓う

甲子園壮行式



甲子園での意気込みを語る中澤恒貴主将—28日午前、八戸市湊高台

第105回全国高校野球選手権青森大会で頂点に立った八学光星ナインの壮行式が28日、八戸市の同校中庭で開かれた。

選手たちは悲願の全国制覇に向け、大舞台での活躍を力強く誓った。ナインは式に集まった生徒や教職員ら約350

人に迎えられ、堂々と入場。中村良寛校長が「優勝おめでとう。深紅の優勝旗を本校に持ち帰って、皆さんの期待していることを期待している。皆さんであれば、必ず成し遂げられる」と激励した。
仲井宗基監督は「決勝は本場に苦しい試合だったが、皆さんの声援が力をくれた。2回戦で敗れた昨年の甲子園の雪辱を果たす」と抱負を述べた。中澤恒貴主将は「今年も一つでも多く勝って、優勝旗を持って帰りたい」と決意を表明。式の最後には「全国制覇を目指す」「自分の役割を全うしたい」など、ナイン一人一人が甲子園での意気込みを語った。

全国高校野球選手権は、8月6日に兵庫県の阪神甲子園球場で開幕。組み合わせ抽選会は同3日に行われ、ナインは同日、現地に向け出発する予定。
(棟方好華)

光星におめでとう
青い森信金が垂れ幕
第105回全国高校野球選手権の本県代表に八学光星が決まったことを受け、青い森信用金庫(八戸市)は28日、同市の本店営業部にお祝いの垂れ幕を掲げた。



「悔いなく、優勝に向かって戦ってきてほしい」とメール。同信金野球部が9月に香川県で行われる全日本軟式野球大会に出場することを引き合いました。
(白鳥遼)

青い森信用金庫本店営業部に掲げられた、八学光星の甲子園出場を祝う垂れ幕